

抄遊

「仰ぎ見る
立山連峰……
の心を擲^なげられようも
のなら、2人で愛する郷
土を誇り、弁護に回った
のはいうまでもない。

若手の日銀マ
ンだったころ、部署の慰
安旅行の余興で熱唱した
私の日銀内での人間関係
も広がった。若いころ、
現総裁の白川方明
氏から「あなたが、
富山県出身の斉藤
君ですね」と、声
をかけてもらった
のも、折谷さんが
白川氏と同期だっ
たのがきっかけ
だ。

「富山県民の歌」
が、この「富山県民の
歌」。一緒に歌っ
たのは、同じ富山
県出身で、6年先
輩の折谷吉治さん
(現明治大学商学
部教授)。即興だ
ったが、旋律も歌
詞も当人たちが驚
くほど正確に覚え
ていた。大喝采を
浴び、日銀内で「富
山県人といえば折
谷・斉藤」と、2人セツ
トで言われるきっかけに
なった。

「富山県民の歌」

吉 栄 藤 斉

昨年、私はふる
さとに戻ったが、
私が上京する際や
折谷さんが帰郷される際
はお互いの自宅を徹
して語り合う。「富山の
発展のために頑張っ
てほしい」と熱く語る折谷さ
んの言葉は、立山連峰と
ともに私の元気の源であ
る。(さいとう・えいき
ち＝富山銀行頭取)

折谷さんは富山東部の
朝日町、私は西部の福光
町(現南砺市)で生まれ
育った。どちらが田舎だ
とか、富山なまりが強い
だとか、言い合っては楽